

まちづくり協議会代表者交流会 議事概要

(R6.11、R7.1 開催分 「議事:宝塚市の財政状況について」部分のみ抜粋)

令和 6 年 11 月 13 日 第 1 部:令和 5 年度(2023 年度)決算と財政見通し

- ア. 先ほど市長から説明いただいた話を全市民がどこまで理解できるか。今後の計画も含めて市民に説明して理解を得ていくことが必要だと思う。そのあたりをお願いしたい。
- イ. (市長)できるだけ多くの市民の方にご理解いただき、ご協力いただかなければならない。広報担当課、事業担当課が説明する機会をいただきながら、ご理解いただける方策をとっていく。
- ウ. このような話をしていただき有難く思う。財政難の問題は山崎市長就任前からあり、問題を先送りしてきたため、市立病院建て替えとクリーンセンター建て替えが同時になってしまった。問題は税金が全く伸びていないこと。固定資産税収が伸びないのは道路等のインフラに投資してこなかったため。宝塚市の場合、民生費の出費が全国平均より多い。それがずっと続いていて、道路や商工費、教育費に全く使われていなかったつけがまわってきている。このつけがまわってきていることを本来ならば市民に早く伝えるべきであった。やっと今日の代表者交流会で共通認識できて良かったと思う。市の財政状況が非常に厳しいということを認識して、住民みんなで考えていかなければいけないと思う。
- エ. (市長)税金が横這いであるという課題から脱却するには、税金以外から財源を確保する必要がある。財源確保のため、国の機関に直接伺い、要望をしている。今後も要望を続けていく。
- オ. (座長)来年1月までに財政状況に関する質問があれば市民協働推進課を通して提出してもよいか。
- カ. (市長)承知した。
- キ. (市民協働推進課)事務手続きを検討し、市民協働推進課からご連絡する。

令和 7 年 1 月 8 日 第2部:これからの時代にふさわしい行財政経営の実現に向けて

- ア. 昨年3月に出た令和6年から令和15年までの財政見通しの中で、約112億円の一般財源不足が出るとなっているが、現に、令和8年度の予算が組めないのではないかと意見が出ている状況である。財政調整基金が今後減少していく中、今後3年間で24億円を捻出しないといけないが、その目途が立っていない。国からの補助金があっても市立病院建設費と新ごみ処理施設建設費の合計約400億円の資金を積み立てていけないといけない。今、宝塚市は一番厳しい財政状況である。全国的に53%の市の税金が伸びているが、近隣市と比較しても宝塚市は税金が伸びていない。民生費が極

端に多く、土木費が削られているため、市内のインフラが崩壊している。こういう状況であることを市民に伝えるべきであると思う。それを市民に伝えた上で、先ほどおっしゃられたような取り組みを行っていただきたい。個人の意見として、必要でないと思う事業や削減すべき費用はあると思っている。もし、事業の縮小や削減を検討される際には、まち協に相談していただければ、まち協から地域住民に伝えることはできる。

- イ. (市長)宝塚市は近隣市と比較すると企業が少ないため、税収の伸びが少ない。また、私が就任した時はインフラ等がとても厳しい状況だったため、今はインフラに2、3倍の費用をかけていること、加えて、将来に向けてしっかり貯金をしていることも財政状況が厳しい要因となっている。これから数年、一番厳しい状況となるが、セーフティネットは張りながら取り組みたいと思う。今ある事業で生活をされている市民の方は支えつつ、様々なご意見をいただきながら事業の見直しを行っていく。見直すにあたっては、市民の皆様へ説明を行い、ご理解を得ながら検討していく。歳入に関して、来年度、ふるさと納税をはじめ歳入確保に向けた取組を推進するためのチームの立ち上げを検討している他、国や県からの財源を引き続きしっかり確保していけるよう取組を継続していくとともに、さらなる財源確保につながるよう、補助金等の制度も精査して、歳入が増えるように検討していく。
- ウ. 今後どのような取り組みを進めていくのかということをも市民にしっかり説明していただくことが非常に重要。何を我慢し、将来に何の希望をもたせていくのかを理解しながら事業を進めていくことが大切。まち協が協力できることもあると思うため、事業の見直しを検討される際には、まち協に相談をしていただければと思う。
- エ. (市長)宝塚市の状況をより多くの方に理解していただきながら取組を進めていきたいと考えている。皆さまに様々な情報を提供し、相談させていただきながら進めていきたい。今後、様々な部署から皆様に相談があるかもしれないが、是非ストレートな意見をいただき、一緒に考えていただけたらと思う。
- オ. 資料の中に事務事業見直しの一覧があるが、事業担当課で検討するのか、横断的に複数の担当で検討するのかを明確にして、約束いただきたいと思う。担当課から説明をされる際に、市の方針だけを説明するのではなく、地域の関係者の方々と熟考された上で結論を出していただきたい。
- カ. (市長)事業担当課は横のつながりを持ちながら進めていく。
- キ. まち協関連でいうと、まち協補助金のカットも可能性としてあると思っている。市民活動は、担い手不足となっている中、補助金はとても重要であるため、そこをカットされると活動自体が萎えてしまう。カットすべきものはカットしていくべきだと思うが、地域と一緒に話し合いをしながら進めていただきたいと思う。
- ク. (市長)まち協補助金をカットするということは考えていないし、担当部局からも上がってきていない。昨年、多くの地域の活動を見せていただいて、物価高騰等で厳しい状況の中で尽力いただいているお姿を目の当たりにした。地域活動は宝塚市の心臓の鼓

動のようなものだと思っているため、それを止めるようなことをするつもりはない。もちろん、相談させていただきたい時には必ず相談させていただくが、現時点でそういったことをするつもりは全くない。